



# 臨床腫瘍センターだより



第26号 (2010年9月17日)

## ～「ルー・フォー・ライフ福島」に関するご報告～

去る9月4日から5日かけて、医大グラウンドで『ルー・フォー・ライフ福島』が開催されました。

2日間で約3000名の方が来場され、これまでに730万円の寄付が寄せられるなど、大成功のうちに終わることができました。

職員の皆さまにもいろいろとご協力頂き、誠にありがとうございました。

ルー・フォー・ライフ福島 実行委員一同

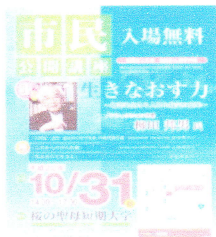


## 外来化学療法登録レジメンの制吐剤変更に関して

悪心・嘔吐は、がん患者にとって非常に不快な症状であり、制吐剤を的確に投与することは、安全で有効な化学療法に必要不可欠なものです。この度、アロキシ静注(パロノセトロン)が当院でも採用となることから、外来化学療法登録レジメンのうち、強い悪心・嘔吐が生じるレジメンの制吐剤をアロキシ静注に切り換えることとなりました。アロキシ静注は、新規の5-HT3受容体拮抗剤であり、血中半減期が長く5-HT3受容体への親和性が高いとされ、ASCOガイドラインの嘔吐リスクのうち、high risk群の急性、moderate risk群の急性・遅発性嘔吐に対して有効性が示されています。なお、切り換えとなるレジメンは、カルボプラチン、シスプラチン、エンドキサン等を含むレジメンであり、本年度第4回プロトコール委員会(平成22年9月6日開催)にて承認済みです。

薬剤部 川井

## 吉田富三記念 福島がん哲学外来 市民公開講座開催



10月31日(日)、桜の聖母短期大学マリアンホールにて順天堂大学教授 樋野興夫先生、ノンフィクション作家 柳田邦男先生、エッセイスト 大石邦子先生、名古屋市立大学院特任教授 上田龍三先生をお迎えし、市民公開講座「吉田富三記念 福島がん哲学外来 生きなおす力」を開催致します。

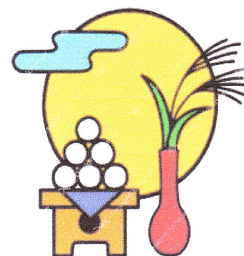
入場無料でどなたでも参加可能となっております。興味のある方、悩みや不安を抱えている方がいらっしゃいましたら、病院経営課・佐藤(内線:3016)までお申し込み下さい。

## 〈8月外来化学療法センター利用状況〉 利用者数 255名



お知らせ

消化器外科 I	40	消化器内科	12
低侵襲、先端治療科	29	婦人科	19
乳腺、内分泌、甲状腺外科	86	泌尿器科	10
呼吸器内科	19	血液内科	5
呼吸器外科	4	小児科	28
放射線科	2	皮膚科	1



### Cancer Board開催案内

9月27日(月) 18:00～ 頭頸部  
18:30～ 骨軟部

医療従事者を対象に、各臓器別に診療科横断的な腫瘍カンファランスを定期的で開催しております。医療従事者であればどなたでも出席できます。

### 臨床腫瘍セミナー開催案内

日 時: 平成22年9月21日(火) 18時～19時

場 所: 第二臨床講義室

演 題: 「がん化学療法における適正な制吐療法とは  
:最新のガイドラインを踏まえて」

講 師: 順天堂大学医学部附属順天堂医院

乳腺科長 齊藤 光江 先生

※大学院生は共通必修科目(規定の8)に該当します。